

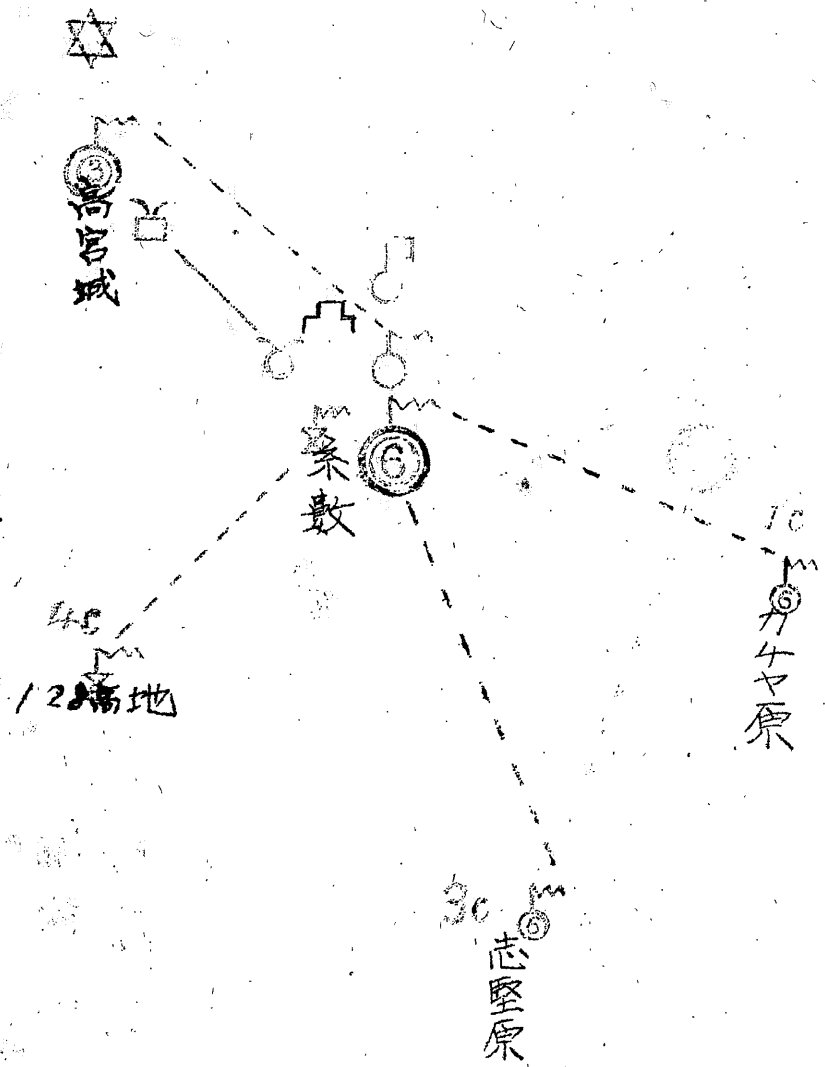
飯塚地区西大丸島製紙工場



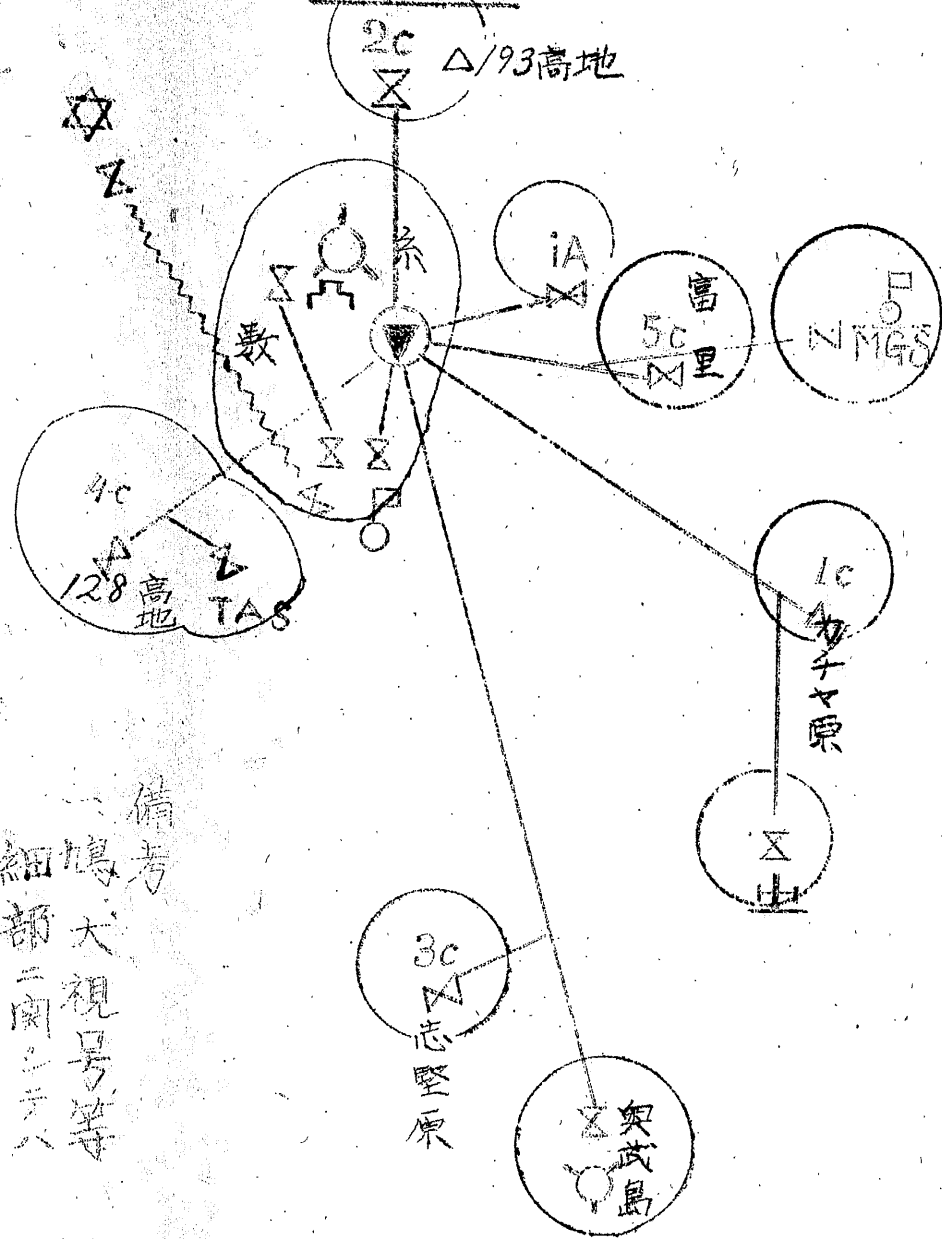


飯塚地區通信計畫圖

線 無



線 有



備考  
鳩大視号等  
細部ニ関シテハ  
別ニ計畫ス

方針  
敵ノ激烈ナル砲爆直下ニ於テモ百方手段ヲ盡シテ  
有線通信ノ確保ニ勉ムルト共ニ副通信トシテ無線  
視號場ヲ併用ス

築城作業之勢力系統表

分組業務	主	副	助	手
工事計畫業務係	三輪大尉	石田中尉	淺尾少尉	大竹曹長
材料支拂係	遠藤大尉	香椎中尉	武藤中尉	大竹曹長、外崎曹長
勞務係	香椎中尉	石田中尉	石田中尉	外崎曹長
器具係	香椎中尉	石田中尉	石田中尉	岡田軍曹
資材係	遠藤大尉	香椎中尉	淺尾中尉	小柴軍曹
輸送係	遠藤大尉	石田中尉	石田中尉	小林曹長
通信連絡係	奈良少尉	八木少尉	伊藤曹長	岡南軍曹
經理係	武藤中尉	南中尉	南中尉	原田中尉
救護係	小松軍中尉	保原軍中尉	保原軍中尉	岡本曹長
築城係	各隊長			

備考

一係官人相互ニ連繫スルニ密ニニ業務の滑リ期ニ及ルモノトス

石九六日命第一六六號

石第三五九六部隊日々命令

十二月二十六日  
五城國民學校

十二月二十九日八時三十分ヨリ別紙計畫ニ基テ昭和十九年度現地入隊  
初年兵査閲ヲ實施ス

陸軍大尉  
陸軍少尉  
陸軍准尉  
陸軍醫中尉  
陸軍主計中尉

遠藤 興一  
淺尾 金藏  
石川 康秀  
小松 三郎  
武藤 克己

右者初年兵査閲補助官ヲ命ズ  
免機關銃中隊 陸軍上等兵

酒井 喜代治  
市川 義三

右頭書ノ通り大隊本部將校當番ヲ免命ス



昭和十九年度初年兵査閲計畫書

昭和一九二二九  
石第三五九六部隊

目的 初年兵教育、進度及狀況ヲ査閲シ爾後ニ於ケル教育訓練、  
進歩向上ヲ圖ルト共ニ意圖、徹底ヲ期スルニ在リ

時間	30分		30分		10分		15分		30分		60分		10分		25分		15分		90分		50分		備考
	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	備考	
課	<p>初年兵教育、進度及狀況ヲ査閲シ爾後ニ於ケル教育訓練、 進歩向上ヲ圖ルト共ニ意圖、徹底ヲ期スルニ在リ</p>																						
目	<p>初年兵教育、進度及狀況ヲ査閲シ爾後ニ於ケル教育訓練、 進歩向上ヲ圖ルト共ニ意圖、徹底ヲ期スルニ在リ</p>																						
場	<p>校</p>																						
要	<p>一併立縦隊トス 二試問ハ軍容検査問ニ テ行フ 試問事項 勅諭、戰陣訓師團長方針 直屬上官官氏名與範令關係 經理衛生關係事項等 教育隊長適宜定ムル モトス</p>																						
領	<p>一列縦隊カ一列横隊ノ隊形ヲ實施ス 教育隊長ニ於テ決定ス 石ニ同シ 石ニ同シ 二班ニ分テテ實施スルモトス 一班小隊ヲ二班ニ分テテ實施ス ト共ニ三班トナリテ實施ス ノ技術、上中下ヲ選定ス 之小銃輕機ハ各人五發トス 三、行手ハ小銃三名輕機三名トス 三班ニ分テテ全員監視兵ト シテ實施セシム 距離間隔ヲ縮メ四字形ニ 集合ス</p>																						
摘	<p>停止間ハ閱兵 時ニ檢ス</p>																						
要	<p>小銃輕機ハ 第三習會</p>																						
兵	<p>全全</p>																						
軍容検査	<p>全全</p>																						
試問	<p>全全</p>																						
敬單	<p>全全</p>																						
禮獨	<p>全全</p>																						
行進問着脱劍	<p>全全</p>																						
裝填抽出	<p>全全</p>																						
遠(區)足行進	<p>全全</p>																						
捨銃立銃	<p>全全</p>																						
膝射伏射	<p>全全</p>																						
小銃輕機關銃擲彈槍	<p>全全</p>																						
飛行機射撃	<p>全全</p>																						
直突及假標刺突	<p>全全</p>																						
基本体操	<p>全全</p>																						
實包射撃	<p>全全</p>																						
監視報告乍候ト連絡	<p>全全</p>																						
講評訓示	<p>全全</p>																						
備考	<p>1 午前八時三十分ヨリ午後八一三時ヨリ開始ス 2 教育隊長ハ本計畫ヲ立案、十二月二十八日正午迄ニ提出スヘシ 3 各中隊長ハ立會目スルモノトス</p>																						

會報

十二月廿六日 國民學校

一 今次輸送ニ於テ初年兵教育隊ハ左記梱包紛失セシニ付キ各隊ノ梱包中ニ混同シアラサルヤ調査通報セラレ度  
左記

梱包種類	内容	品	梱包註記
ノ 菰包	劍術胴着團	十一枚	㊦ 教第 号 板札
㊦ 菰包ニテ正入	其他練習具	五	㊦ イ 多 板札
㊦ 桶ニ纏ヲ掛ク	桶及洗面器(木製)	三	機關銃教育班

二 明二十七日ヨリ三ロヨリ初年兵教育隊ニ於テ擲彈筒代用彈射撃ヲ實施ス

場所 系敷北端ヨリ約五ロロ米東北方地點

三 師團工兵隊陸軍二等兵 玉繩吉信ハ十二月二十五日逃亡セリ  
各隊心當アラハ速ニ報告ス

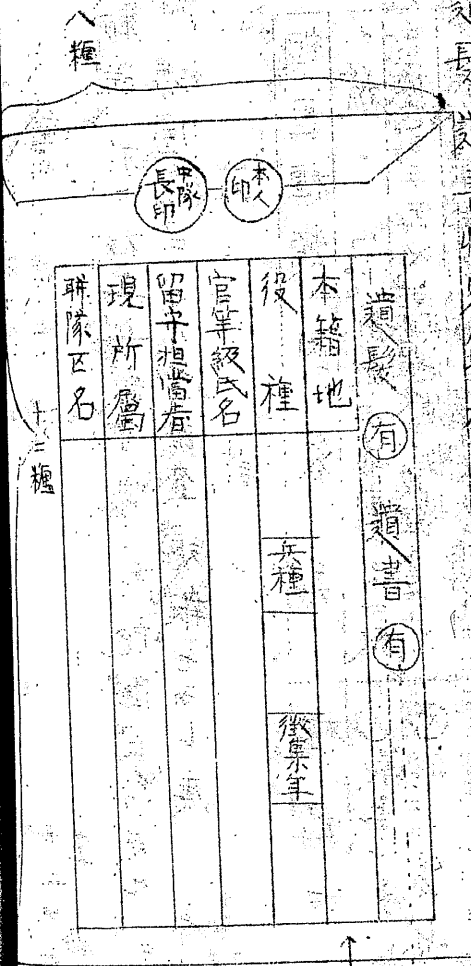
四 追テ本人ハ年令三十三才 身長五尺一寸 顔色黒ノ痘痕アリ  
明二十七日八時ヨリ本部彈藥庫(系敷製糖會社北方五ロロ米)ニ於

テ左記計畫ニ依リ爆薬ヲ配當スルニ付キ受領員ヲ差出サレ度

爆薬配當計畫書表

品目	配當		區分	備註
	米	寸		
少イオニイト	20	60	250	50
菅	60	50	200	30
火	60	50	200	40
田	70	60	250	50
草	60	50	200	40
火	60	50	200	40
草	60	50	200	40
火	40	30	100	50

五、留并業務規程第二十四條ニ基キ遺髮遺書提出要領左記ノ如ク遺髮遺書收容袋様式(記載例)



ナキモ、(無)トス  
 收容スベキ袋ハ  
 三重トシ永久保存  
 スルモノニツキ  
 紙質ニ就テハ持  
 良質ノモノヲ選定  
 コト

昭和三十年一月十日迄ニ取纏メ左記様式ノ名簿一  
 通ヲ添付シ提出スルコト

第一中隊遺髮遺書目録

聯隊名	本籍地	役種	官等級氏名	留并担当看	現所屬	聯隊区名
本籍地	役種	官等級	氏名	遺髮遺書		

備考  
 一各聯隊区毎ニ調製スルコト

六、入院患者分収遺骨等ニ對シテハ速ニ連絡者ヲ派遣シ準備スルコト  
 各隊ニ對シテ遺骨別紙ヲ通リ牛乳ヲ交付スルニ付受領セラレ度  
 松田隊配屬機關銃小隊、自二十六日至二十九日ニ亘リ自ラハ口至一  
 ハ口ノ間、川西方台地ユヒ川左岸ニ於テ爆破作業ヲ實施  
 ス(般承知ノコト)



十一月十七日

晴水

五成

氏學

作戦

陣地構築

大隊の前日に引續き築成作業を實施す

大隊の師団より馬匹を受領し別紙十五作命令第六號ヲ下達ス

日々命令

三 勤務ニ関シ別紙十九日命令第一六七號ヲ下達ス

會報

四 別紙十九會第一四七號ヲ下達ス

追及

五 大分曹長以下七名に四〇〇追及ス

勤勞六本日勤勞員

日直持杖

逃為持杖

日直下士官

内務衛兵

対空監視哨

対海監視哨

日直下士官

淺尾少尉

金山少尉

松井少尉

茶島少尉

伊藤少尉

外崎曹長

現員七本日現員

人員

馬匹

飯塚少佐以下八名

日馬

日

獨立歩兵第十五大隊命令

十二月十六日一六〇部

一師團ハ馬匹ヲ徵發シ之ガ充足ヲ企圖セラル

二大隊ハ石作命丁第六四號ニ基キ馬匹ヲ受領

シ關係各隊ニ交付セントス

三機關銃中隊長歩兵砲中隊長ハ各下士官以下

二一名ヲ明<sup>後</sup>二十八日九時玉城國民學校ニ差出シ

江崎獸醫務曹長ノ指揮ニ入ラシムベシ

服装ハ徒手帶劍トシ晝夕食ヲ携行スベシ

四江崎獸醫務曹長ハ前項人員ヲ指揮シ明後至

日十四時迄二與那原因氏學校ニ至リ師團馬  
 匹徵發本員長ヨリ馬匹ヲ受領スベシ  
 五乘馬本員ハ前項馬匹ヲ左ノ如ク交付スベシ

計	中隊	mg 中隊	本部	左列		計	備	要
				馬	砲隊			
二	一〇	一七	一	三	馬匹受領ノ状況ヨリ			
二	一〇	一七	一	三	交付總數ヲ變更スル			
二	一〇	一七	一	三				
二	一〇	一七	一	三				

大隊長 飯塚豊三郎

石九六日命第一六七號

一石第三五九六部隊日々命令

十二月廿七日一六〇

免後發隊長 陸軍中尉

水崎正之助

右頭書 勤務ヲ免命ス

陸軍准尉

石川康秀

石兵團會報參列ノ爲明二十八日即日歸隊豫定ヲ以テ仲間

出張ヲ命ス  
 左ノ通り本部日直並巡察將校ニ服務スベシ

月	日	日	直	將	校	巡察	將	校
十二月二十九日	石川	准尉	小池	少尉	多田	見習士官		
同 三十日	遠藤	大尉	分部	少尉				
同 三十一日	川辺	見習士官	山部	少尉				
一月一日	山本	少尉	宇野	少尉				
同 二日	石田	中尉	奥原	准尉				
同 三日	奈良	少尉	小石	原見習士官				
同 四日	白石	少尉						

同	同	同
五日	六日	七日
三輪	香椎	淺尾
大尉	中尉	少尉
高瀬	横井	神谷
准尉	准尉	見習士官

石九六會第...一四七號

會日

報

十二月二十七日 玉城國民學校

糧秣材料等運搬、爲作業小隊全員通信班ヨリ兵五名ヲ明二十八日、二十九日、兩日八時三十分迄、經理室前ニ差出シ武藤主計中尉指示ヲ受クルコト

服装ハ徒手帶劍卷脚絆トス

各中隊ハ西要圖調製ニ適仕ナル下士官(又ハ兵)一ヲ明二十八日ヨリ

二十九日夕迄本部ニ差出シ三輪大尉指示ヲ受ケムルコト

携行品青赤ノ色鉛筆定規消ゴトス

明二十八日ヨリ經理室ニ於テ事務用消耗品一部ヲ交付スルニツキ

受領相成度、(並ニ陣中消耗品)

尚物品補給少キ現況ニ鑑ミ努メテ消耗品ノ節用ヲ計ラレ度

現	負	五	本	日	現	負	日	直	下	士	官	封	封	內	日
島	人	負	飯	塚	少	佐	以	下	八	名	宮	本	會	長	封
島	負	飯	塚	少	佐	以	下	八	名	宮	本	會	長	封	日
島	負	飯	塚	少	佐	以	下	八	名	宮	本	會	長	封	日

十二月三日

晴

五城

會報

一、陣地構築

大原前日引續、築成作業ヲ實施ス

二、別紙石丸會第一四八號ヲ下達ス

視察

部隊長ハ初年兵檢閲地實查、爲シ、  
視察後、  
隨行者、  
遠時、大尉

會報

十二月二十八日 玉城國民學校

豫、兵器委員ヨリ各隊長宛連絡セシ如ク銃器移動修理隊ハ、  
如ク開設スルコトニ決定セシツキ西々修理兵器ヲ明二十九日午前中、  
兵器委員宛提出セラレ度

尚提出要領ハ既ニ連絡ノ通りニ付キ爲念

期間 自十二月三十一日 星期一 至 一月三日 間  
場所 玉城國民學校

二、明二十九日初年兵教育隊查閱ニ於ケル對抗部隊並ニ使役西々員ヲ  
左、如ク差出シ教育隊長、指示ヲ受ケニセラレ度

一、人員 各中隊ヨリ兵ニ名

二、服裝 軍裝ニシテ背裏被甲ヲ除キ、全員小銃トス  
白帶並盾食携行トス

三、集合場所及時間 八時迄、本部教育室前ニ集合

三、明二十九日初年兵教育隊ハ查閱、爲左、如ク小銃輕機、實包射撃  
ヲ實施ス

左記